

第2回（仮称）市民交流センター整備検討委員会の開催について（概要）

- 1 開催日時 令和4年11月16日（水）13時30分～15時10分
- 2 開催場所 諫早市役所本館8階 8-1会議室
- 3 参加委員
橋本委員長及び古賀副委員長を含む委員10名（欠席1名）
- 4 委員からの主な意見・質問等について
 - ① 芝生広場について
 - （イベント開催や市民公園等として利用している）現有の芝生広場の機能を残して欲しいというのが地域の意見である。
 - 芝生広場は、ただの空き地ではなく「屋外のホール」という発想で整備計画を検討願いたい。そうしなければ、地域から反対意見が出てくる。
 - 中規模ホールを中心部に移すために芝生広場が無くなっては困る。周辺地域では「ここで整備して良い」という合意形成はできていない。
 - ② 計画・スケジュールについて
 - パブリックコメントは実施して欲しい。また、その結果を委員会にフィードバックして、再度議論する場も作って欲しい。
 - （中規模ホールの整備）計画が変わったが、計画の変更を知らない市民もおり、心配する声も聞く。早めに広く市民の意見を聞いた方が良い。
 - 整備計画については、庁舎前広場や中央公民館等を含めたエリア一体を対象として、広い視野で整備計画の検討を進めるべきである。
 - （仮称）市民交流センターの施工期間や市民センターの除却時期等、全体スケジュールについて、十分精査する必要がある。
 - 計画の素案や図面、たたき台等があれば、具体的な協議が進むと思う。
 - ③ 駐車場について
 - 駐車場の増設は必要だが、地下駐車場は防災面から整備困難と考える。
 - 市民センター跡地に立体駐車場の整備できないか。
 - ④ イベントについて
 - 施設の施工中は、芝生広場で行われているイベント等の代替箇所の検討は不可欠であると考えます。

- イベントの準備等もあり、施工時期等は早い時期に協議いただきたい。
- イベントは、旧野球場跡地や眼鏡橋前広場で行ってはどうか。芝生広場で固執しなくても良いのではないかと考える。
- 施設整備後の芝生広場は、新たな施設に近接することで、双方が連携した大きなイベントができるのではないと思う。

⑤ 文芸・音楽ホールについて

- 文芸・音楽ホールの計画は、多くの関係者からヒアリングを重ね、策定したものであり、施設の仕様等については、今回の見直しの有無に関わらず、原案どおり進めるべきと考える。

⑥ 市民センターについて

- センター内の壁面にある野口彌太郎画伯の陶板壁画は、本市の重要な芸術文化の財産であり、センター除却前に移設等が必要である。
- 基本構想の中に陶板壁画の取扱いに係るコメントを入れてはどうか。

5 委員からの意見・質問等に対する市の説明内容について

- 施設計画については、可能な限り施設のコンパクト化を図る等、整備範囲の縮小についても検討したい。
- 文芸・音楽ホール事業で検討した中規模ホールの機能や規模等は、原案どおり実施したい。
- 今後実施する市民アンケートは、新たな公民館機能や規模等について、市民の皆様の意見を伺いたい。
- （仮称）市民交流センター整備に係る主な施設は、中規模ホール（500席）、小ホール（兼練習室・300席）、会議室等を想定している。
- 市民センターを除却した跡地利用の中で、芝生化等も検討したい。
- 駐車場の不足に対応するため、北側駐車場の立体化等についても検討したい。
- 陶板壁画については、市民センターの除却までには、取外し方法や費用等について検討したい。
- パブリックコメントについては、基本計画終了後に実施したいと考えており、調査終了後、調査結果を委員会の中で説明し、意見を伺いたい。